

ぐんま教師塾の1年を振り返って

チーム・特別支援の“軌跡” 特別支援教育班

伊勢崎市立伊勢崎養護学校 奈良 雄策

自己課題 「児童一人一人の力を伸ばす自立活動の授業づくり」
～生活に生きる力を高めることを目指して～

○班別研修 ～授業改善に向けた基礎を作る～

- ・ 児童一人一人に対する課題設定、授業のねらい、指導案の表記、教材・教具のあり方など担当指導主事から指導を受け、授業実践につなげることができた。
- ・ 「自立活動の時間における指導」や授業づくりに限らず特別支援教育に関する様々な事柄について話を聞くことができ、日々の実践、これからの教職に生かしていくことができると思う。

○多彩な講師陣による講義や講話 ～教師としての視野が広がる～

- ・ 様々な講師の話の聞くと、「学校」という教育の現場を客観的にみることができ、教師として自分たちの置かれている立場、期待されていることを改めて感じることもできた。
- ・ 親子関係や学級作りの講義を通し、人と人とのかかわりを改めて学ぶことができた。学んだことを参考に、児童への働きかけを変えてみたところ、児童の新たな姿を引き出すことができた。
- ・ 自分自身の視野が広がり、物事を考えるときにこれまでになかった角度から考えられるようになったと思う。

○授業参観協力校での授業研修 ～授業改善のポイントを知る～

- ・ 授業を参観させていただくと、児童への言葉かけ、教材・教具の工夫、その時の児童の様子に合わせた対応など参考になることが多く、自分の実践に取り入れていくことができ、授業改善につなげられた。

○授業実践 ～授業改善を図り、スキルをアップさせる～

- ・ 班別研修を生かして、一つ一つの活動に「ねらい」をはっきりとをもって授業に臨んだり、教材・教具を工夫して児童に提示したりすることができた。
- ・ 児童の身近な生活から課題を捉え、具体的な指導内容を設定したので、児童は学習を通して身に付けた力を日常生活の場面で生かすことができた。
- ・ 児童が自ら学習を“する”、“したい”と思えるように、児童の興味・関心をもとに、主体的な姿を引き出す教材・教具の工夫や授業展開の工夫を行うことができた。
- ・ 授業実践を通して、「自立活動の時間における指導」の一つの考え方、方法を学ぶことができたように思う。

